

BASF ジャパン株式会社 戸塚事業所

1. 事業場概要（別添 1 参照）

- (1) 所在地 : 神奈川県横浜市戸塚区下倉田町 296
- (2) 業種 : 塗料製造業

2. 安全衛生基本方針

- (1) 我々はレスポンシブルケアの精神に則り、安全衛生の継続的な改善に努める。
- (2) 「すべての事故は防ぎ得る」との信念の下、労働災害ゼロを目指し、職場のあらゆる危険有害性を排除又は低減する。
- (3) 全員参加で安全衛生目標を設定し、実施し、見直しを行い、継続的に安全衛生活動に取り組む。
- (4) 安全衛生に関する各種法令及び協定等を遵守すると共に、BASF グループ基準に基づき安全衛生を確保する。
- (5) 従業員の疲労やストレスを軽減するための快適な職場環境の形成を促進する。
- (6) 従業員全員はすべての段階において安全衛生に責任を持つと共に安全衛生に配慮した行動をとる。
- (7) 安全衛生教育を通じ従業員の自覚及び能力を高め、職場での発揮を促す。
- (8) 我々は利害関係者とのコミュニケーションを行う。

3. 安全衛生活動

戸塚事業所では、事業所長の安全衛生方針（及び環境方針）、社内の安全衛生目標及び前年の反省等をもとに、環境安全衛生年間計画（EHS 年間計画）を設定し活動しています。

◇ EHS 年間計画

BASF のレスポンシブル・ケアマネジメントシステムに基づいて設定

→ 事業所全体の年間計画・目標 → 各部門の年間計画・目標

- ・ 3 か月毎に目標に対する実績を各部門で確認
- ・ 6 か月毎に EHS 年間計画の実施状況を事業所全体でレビュー実施

◇ その他

- ・ 毎月の安全衛生パトロール、各部門でのパトロール
- ・ 隔月の事業部長中心にしたパトロール
- ・ 自事業所及び他事業所の事故事例に基づく対策の横展開
- ・ ヒヤリハットによるリスクの拾い出し等（別添 2 参照）

4. 転倒防止対策（別添3参照）

戸塚事業所では重点対応項目として、令和4年4月に事業所全体の転倒災害リスク箇所を再度見直し、調査を実施し、改善を実施しています。

改善施策については、転倒災害リスクの内容に応じ、

- ① リスクの排除
- ② リスクの低減
- ③ リスクの注意喚起

を実施するほか、転倒した際の二次被害防止の取り組みも行っています。

5. 転倒防止対策に関する従業員の声

- (1) 転倒災害の危険源について、目に見える形で事業所全域に対策が講じられていることが感じられました。
- (2) 柵を設けて転倒災害につながる可能性がある場所への立ち入りを制御、小さな段差も黄色で塗装するなど視覚化による注意喚起により転倒防止の効果がでていると思います。
- (3) いまだ対応が必要な個所もあると考えるので、そのような個所に水平展開が必要と思います。
- (4) 夜間時など暗い場所の対策も検討が必要と考えます。

6. 今後の課題

事業所全域での転倒災害の危険源に対しリスクの視覚化対策のみならず、設備的な転倒災害リスクの低減ならびに排除を行ってきました。

今後もリスクアセスメントやヒヤリハット活動を通じて職場の危険源抽出に力を入れ、より安全な職場環境の形成のため繰り返し教育、安全パトロール、危険予知などの活動を通じて従業員の安全に関する感性を一層高めていきたいと考えています。

1.会社概要;日本における主なBASFグループ会社 事業セグメント別構成



BASF Global 事業セグメント	ケミカル		マテリアル		インダストリアル・ソリューション		サーフェステクノロジー		ニュートリション&ケア		アグロソリューション
	石油 化学品	化学品 中間体	パフォーマンス マテリアルズ モノマー	ディスパージョン &レジン パフォーマンス ケミカルズ	触媒	コーティングス	ニュートリション &ヘルス ケア・ケミカルズ	アグロソリューション			
BASFジャパン(株)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
BASF・メタルズ・ジャパン(株)						●					
BASF戸田バッテリーマテリアルズ 合同会社						●					
BASF INOACポリウレタン(株)			●								
エヌ・イーケムキャット(株)						●					

1.会社概要;コーティングス事業部

私たちは表面技術とその開発の専門家です



カラー

- グローバルなデザインの専門家
- 革新的なカラーコンセプト
- トレンド調査
- インスピレーションあふれるグローバルカラーコレクション



保護

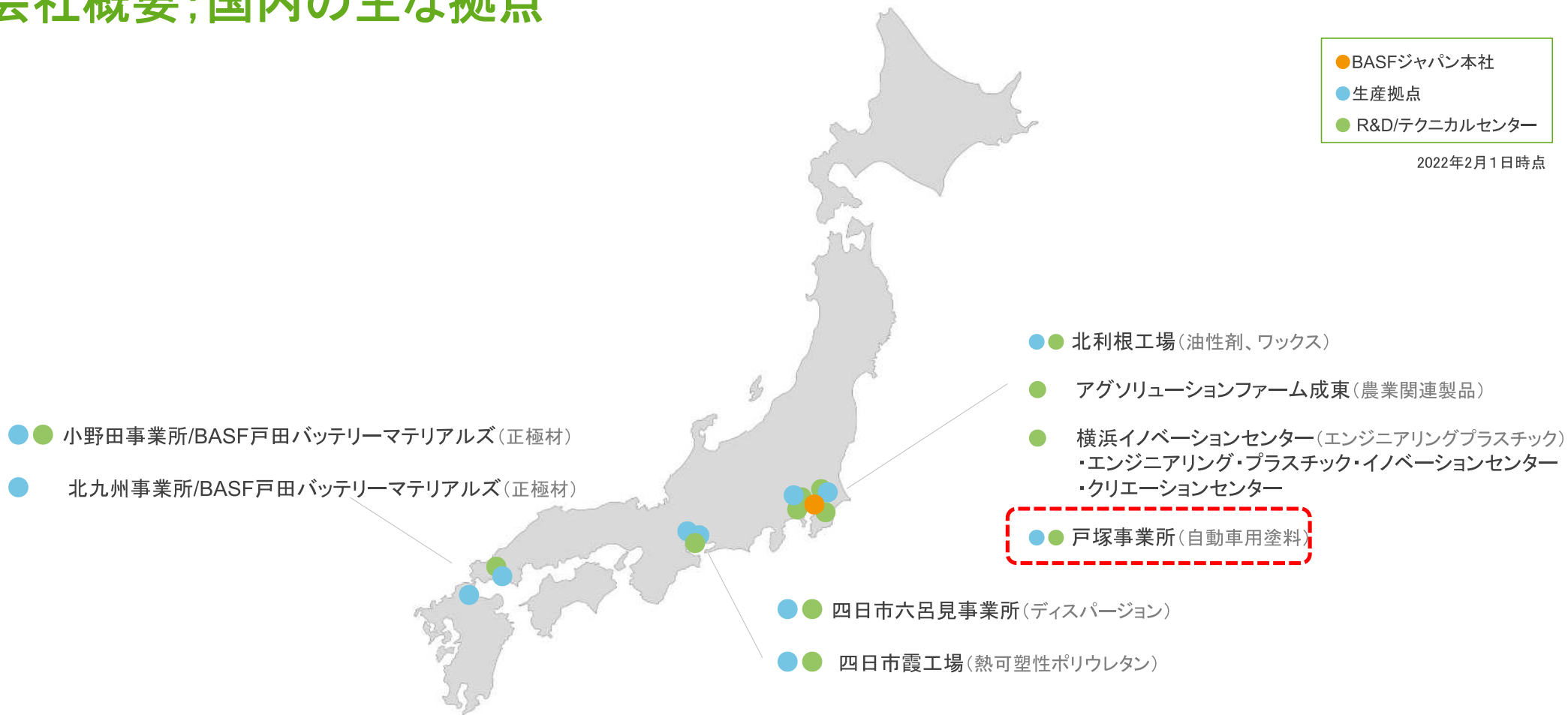
- 適切な前処理
- 自動車補修分野で世界最大のカラーデータベース



塗料を超越して

- 機能性
- 新しい表面ソリューション
- 最先端技術

1.会社概要;国内の主な拠点

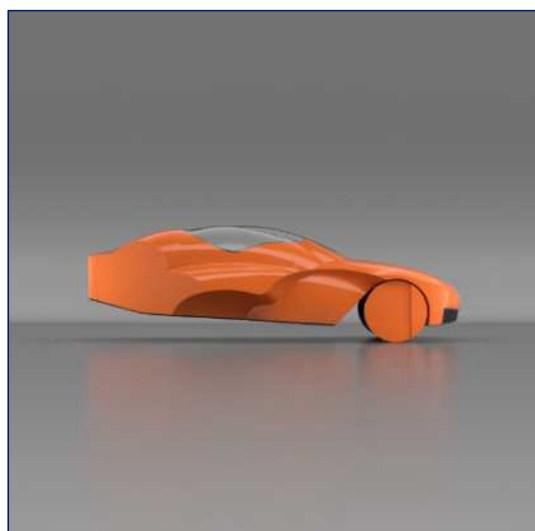


※注記のない拠点はBASFジャパンの拠点です。

1.会社概要;戸塚事業所

BASF ジャパン の戸塚事業所は、敷地内に研究開発部門、生産部門、各技術部門、営業部門等が集約されているため、研究段階からの各部門間での連携・協業が可能であり、より高度なソリューションを提供できる体制が確立されています。

現在生産部門では、お客様のニーズに応える自動車塗料、自動車部品塗料、2輪塗料の製造を行っています。



□・BASF
We create chemistry

2.安全に対する戸塚事業所の取り組み

ヒヤリハットによるリスクの拾い出し

- 様式を簡略化して提案しやすくした
- 抽出したリスクに対して、改善提案書で具体的な対策を提案
事業所として改善提案を認知、賞賛する

改善前

改善後

ヒヤリハットメモ

部署名	
氏名	
いつ	年 月 日 (曜日) 時 分頃
どこで	
どうしていた時	
どのようなヒヤリハットでしたか	
回答	

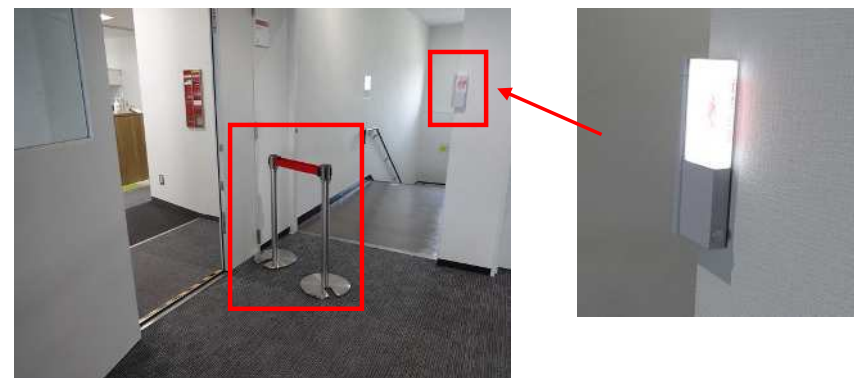
様式簡略化で提案件数が約10倍に増

ヒヤリハット改善事例

ヒヤリハット一覧(2/21)

提出者	日時	場所	どのようなヒヤリ	対応(改善)
*****	7月5日	オフィスビル3階 RE3C	R320から工務の部屋に行こうとしたときRE3Cに入りかけた方が衝突しそうになった。	衝突防止センサー付きの注意喚起器具を設置する。
*****	8月10日	オフィスビル3階 階段踊り場	歩道を昇り登ってRE3C側に(右側)曲がろうとしたとき、ハイスから出てきたであろう人と角で衝突しそうになった。	衝突防止センサー付きの注意喚起器具を設置する。

オフィス通路での衝突に関するヒヤリ改善事例



人の動線を誘導し、衝突防止センサーを設置

3.転倒災害防止対策の取り組み

- ①転倒災害リスクの排除
 - ・杭の突起をなくす

改善前



改善後



3.転倒災害防止対策の取り組み

②転倒災害リスクの低減

- ・転倒しないようにする防護する – 柵の設置

改善前



改善後

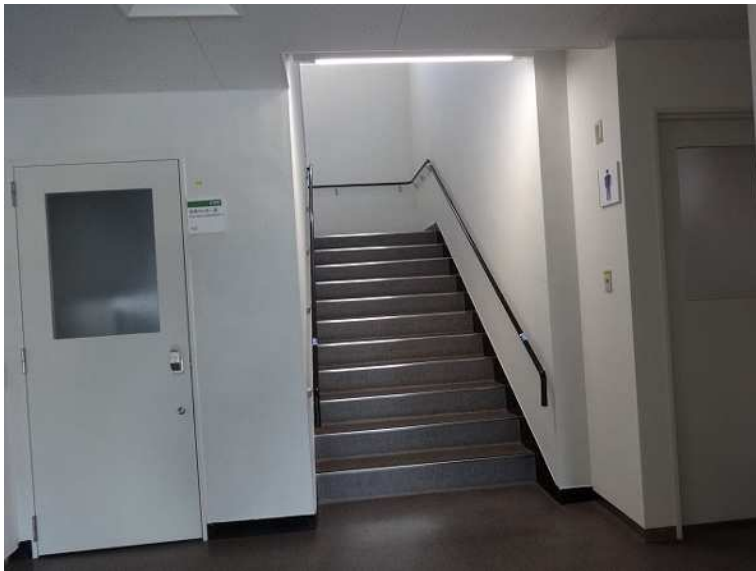


3.転倒災害防止対策の取り組み

②転倒災害リスクの低減

- ・ 階段では手すりを持つ・左側通行する

改善前



改善後



手すりを持つ表示



左側通行の表示

3.転倒災害防止対策の取り組み

③リスクへの注意喚起

- ・リスクがあることがわかるように見える化する

改善前



改善後



3.転倒災害防止対策の取り組み

③リスクへの注意喚起

- ・リスクがあることがわかるように見える化する

扉の軌跡を見える化して、衝突防止



段差を見える化して、つまづき防止



転倒した際の二次被害防止

化学品運搬時に転倒した際、万一の漏洩に備えて、運搬容器を二重化する

